

平成 30 年 5 月 31 日  
 (公財)横浜市緑の協会  
 よこはま動物園

# フアンソワルトンの赤ちゃん誕生!!!

## 一般公開を開始します



母親に抱かれる赤ちゃん（生後2日）

よこはま動物園ズーラシアでは、平成 30 年 5 月 24 日（木）にフアンソワルトンの赤ちゃんが誕生しました。

ズーラシアで生まれたフアンソワルトンは今回の赤ちゃんで 17 頭目となります。母親のチョコは同じ群れで飼育しているショコラ、ココアを立派に育て上げたベテランお母さんで、今回もしっかり赤ちゃんを抱いて面倒をみています。

赤ちゃんは 6 月 2 日（土）から一般公開を開始します。後日、愛称投票を予定しています。詳細についてはホームページなどでお知らせします。

### ■公開スケジュールについて

一般公開日	平成 30 年 6 月 2 日（土）～ ※動物の健康管理上の理由や天候等で展示時間の変更や中止となる場合があります。
-------	---

### ■個体情報

父 親	愛称：タンタン	平成 21 年 11 月 11 日生まれ
母 親	愛称：チョコ	平成 14 年 8 月 18 日生まれ
子	愛称：未定	平成 30 年 5 月 24 日生まれ



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 渡辺 武志 Tel 045-959-1298

■フランソワルトンについて

英名	Francois' Langur
学名	<i>Trachypithecus francoisi</i>
分類	霊長目 オナガザル科
生息地	中国南部の一部からベトナム北部にかけて分布
繁殖	妊娠期間 約200日間 1産1子
生態	河川に面した石灰山地や険しい岩山のある熱帯モンスーン林に生息し、1頭のオスに対し、複数のメスからなる群れを形成する。生息数が少なく、絶滅が心配されている。 フランソワルトンの赤ちゃんは全身黒い毛の成獣とは異なり、全身オレンジ色の毛でおおわれている。赤ちゃんの色は群れの成獣の「子守行動」を誘発させると考えられている。 毛色は徐々に変化し、生後6か月～1年程で成獣と同じ全身黒色になる。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅱ 現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧ⅠB類 (EN) 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
国内飼育園館	6園館 28頭 (オス13頭、メス15頭) ※平成29年12月31日 現在
当園飼育頭数	11頭 (オス5頭、メス5頭、不明1頭) ※今回生まれた子を含む

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）  
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート（18歳以上）2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝日の場合は翌日）12/29～1/1
- ◆交通：JR 横浜線・市営地下鉄「中山」駅、相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約15分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000